

なかの里・まち体験交流事業

なかの里・まちパートナー「福島県喜多方市」
消費者モニターツアー事業記録

平成28年2月13日（土）～14日（日）



喜多方市章



中野区 都市観光・地域活性化分野

スケジュール

- 参加者数29名（うち子ども9名）
- 中野四季の都市を一周し、グリーン・ツーリズムの里、冬の喜多方を目指します！

2月13日（土）	2月14日（日）
○区役所出発	○喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンターへ集合
○「おぐにの郷」 地元産おそばの昼食	○喜多方市食品等放射能検査場見学
○2コースに分かれて市内散策・体験 ●酒蔵巡りコース ●赤べこ絵付け体験コース	○市内散策と昼食 好きなお店で「喜多方ラーメン」を満喫 ※ラーメン券付
○熱塩地区日帰り温泉施設 「夢の森」で温泉入浴タイム	○喜多方プラザ文化センター 「喜多方の四季祭（郷土芸能フェスティバル）」 「喜多方物産展」「全国ラーメンフェスタ」見学
○「岩月交遊館」 夕食交流会・農家さんとの交流会 ※交流会後、各農家さん宅に宿泊	○中野区帰着

このツアーは、福島県喜多方市の農畜産物の『安全・安心』を広くご理解いただくことを目的に、中野区民を対象に消費者モニターツアーとして実施されました。

車内では

- 福島県喜多方市の地理や特産品等について、クイズ形式で楽しく学んでいただきました。
- 野菜編・果物編として、花の写真から成果を考えていただきました。



喜多方市の特徴

- 【根のまち】
- 市内に約4,200の蔵があります。
- 蔵は現在でも、倉庫、酒蔵、お店などとして、使われています。



⑤

喜多方市(きたかたし)の特産品(とくさんひん)

- アスパラガス…東北一の生産量です
- さやうり、茄子、トマト、インゲンなど
- お米
- そば
- 日本酒、ワインなど



⑨

地理クイズ
中野区作成



答え: アスパラガスの花



答え: りんごの花



食育クイズ(果物編・野菜編)
NPO法人喜多方市GTS作成

喜多方産おそばの昼食 おぐにの郷

農泊等をプロデュースいただいた、喜多方市GTS・小林事務長様より、歓迎のご挨拶を頂戴しました。



スタッフの皆さん



この日のそばを打っていただいた、佐藤さんからご挨拶を頂戴いたしました。

- 旧熊倉小学校・雄国分校を活用した交流施設「おぐにの郷」で、地域の方に地元産のそばと天ぷらを振舞っていただきました。
- 喜多方では、上質なそばを提供するため、そば打ちの技術練度により段位を与え、そば打ちの腕を高めています。
- この施設は地域の伝統文化(根曲がり竹細工)、食文化(雄国そば)等の発信基地として活用されています。

おぐにの郷

- のど越しの良いおそばに皆さん大喜び！
- 完熟のりんごもいただきました。
- 食後はスタッフの皆さまのお見送りを受けて市内へ向かいました。



間近で見る「そば打ち」の妙技に興味津々の様子

市内散策

○酒蔵巡りコース

3件の酒蔵をご案内いただき、会津地方の水と米の恵み、伝承の技術を楽しませていただきました。



①小原酒造

「仕込み」の際にクラシック音楽を流し発酵を促す製法をご説明いただきました。

②大和川酒造

江戸時代に作られた酒蔵をご案内いただきました。

③ほまれ酒造

庭園を鑑賞しながら試飲をさせていただきました。

市内散策

○赤べこ絵付け体験



喜多方ラーメン神社



若喜商店蔵座敷 外観
(明治37年の建造物・国登録有形文化財指定)

- ・バスを降りた一行は、蔵のまちガイドさんのご案内で、市内を散策いたしました。
- ・赤べこ絵付け体験は、平成26年9月に落成した「喜多方市役所新庁舎」で行われました。



「飯豊スギ」「三津谷レンガ」
など地場産材を多用した
喜多方市役所新庁舎

市内散策

○赤べこ絵付け体験

赤べこ絵付け体験は、街中散策でもお邪魔した、「若喜商店」十二代目当主で喜多方市観光物産協会会長・冠木（かぶき）紳一郎様に、優しく丁寧なご指導をいただきました。



右・ご指導いただいた冠木さん。
左・この人形に絵付けします。



大人も子どもも真剣です。
無地の赤べこ人形の顔や体に絵付けしていきます。

入浴タイム

熱塩温泉「夢の森」



熱塩温泉「夢の森」外観

- 赤べこ絵付け体験と酒蔵巡りに分かれて楽しんで合流し、熱塩（あつしお）温泉の日帰り温泉施設「夢の森」で柔らかなお湯につかって心もほっこり

• (*^_^*)



木が多用され、ぬくもりを感じる内部

夕食交流会

岩月交遊館



「ようこそ喜多方へ！
中野区のみなさま！」
横断幕で歓迎いただきました

- 入浴の後は、夕食交流会です。農家の皆さんがお待ちかねの「岩月交遊館」には、午後6時頃に到着しました。
- 熊倉中学校跡地に交遊館を新設し、交流会や地域サークルの方が活用しています。
- 旧校舎・体育館も「岩月夢想館」として地域の方が活用しています。

岩月交遊館
(夏の様子) イメージ



岩月夢想館
体験事業や運動に活用

岩月交遊館
交流事業や各種サークル
に活用

きたかた喜楽里博
マスコットキャラクター「みんべえ」

夕食交流会



農泊先のみなさまの自己紹介



- 左上・※喜多方市GTSの伊藤理事長様から歓迎のご挨拶をいただきました。
- 左中・参加者を代表して、本ツアーに1番先に申し込まれたご夫婦様からご挨拶をいただきました。
- 左下・喜多方市役所・庄司室長様から乾杯のご発声をいただき、夕食交流会が始まりました。

※喜多方市GTSとは
 特定非営利活動法人
 喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンターの略



中野区のみなさまへ
 歓迎の言葉と「お品書き」

- 手作りの郷土料理が、所せましと並べられていました。
- 「にしんの煮物」「野菜いっぱいの豚汁」、地元産の手づくり「菜種油」で揚げられた野菜のほか、ひと口大の「十円まんじゅう」も天ぷらで出されました。
- 子どもが喜ぶよう「ポテトサラダ」などもご用意いただきました。
- 水と米が良質な、喜多方ならではの日本酒も数種類並べられました。
- お世話になる農家さんを囲んで、和やかに楽しく過ごしていただきました。



お料理の説明をされる伊藤さん



- 会津地方の自然の恵みを堪能いただきました。
- 楽しい夕食交流会を終えた皆さんは、各農泊先へ向かわれました

2日目

喜多方市GTS事務所に集合

- 朝食を済ませた皆さんが、続々とGTS前に戻ってまいりました。
- 一晩のお付き合いでしたが離れがたいご様子で、再会を約束されていました。
- 2日目に予定されていた、「雪下野菜収穫」はあいにくの雨で中止となりました。代わりとして、皆さまのご自宅へ後日「喜多方野菜」が贈られることになりました。



農家さんを囲んで
記念撮影



- 上・農家さんを代表し「大川荘・渡部様」よりご挨拶を頂戴しました。
- 下・事務局がお世話になった「大川荘」での朝食。ご飯がつやつや光っていました。
- 中・「喜多方の水」をいただきました。

食品等検査場の見学

喜多方市水道課



- 喜多方市役所・田中係長より、空間線量測定結果や農畜産物等の検査機器及び検査結果等についてご説明いただきました。
- 東京都内や医療機器での線量比較などにより、喜多方市の農畜産物の安全性を客観的に、わかりやすく解説いただきました。
- 喜多方市の農畜産物の『安全・安心』をご理解いただきました。



3種類の簡易検査機器



市内散策（自由見学）と昼食



希少な「縞柿材」をふんだんに使った蔵座敷の内部。



バレンタインデーなのでチョコが添えられた喜多方ラーメン(^o^)/



筆者とみなかみ町の職員は、一日目に「赤べこ絵付け体験」をご指導いただいた、冠木さんの「若喜商店」を訪れ、天然醸造のお醤油作りや蔵座敷のご説明をいただきました。また、周辺の3つの商店街で進める、地下水を利用した「無散水消雪歩道」の取り組みをお話しいただきました。

『喜多方の四季祭』 見学 喜多方プラザ文化センター



「根曲り竹細工」の実演販売



「全国ラーメンフェスタ」の様子
各ブースに長い行列ができていました。
テント内は暖房が効いています。

- 最後は喜多方プラザ文化センターで郷土芸能の見学です。
- 会場では「全国ラーメンフェスタ」「喜多方物産展」が併催され、会津漆器や根曲り竹細工などの工芸品や農産品、名産品などが展示販売されていました。



J A会津いいで婦人部の
物販ブース

『喜多方の四季祭』



長靴姿の喜多方市長と出演者の皆さん



- 左：「開会式」出演者全員が勢ぞろいする中、喜多方市・山口市長のご挨拶で「四季祭」が開催いたしました。
- 右：『小町夢太鼓』の勇壮な演奏（下は子ども隊の演奏）

中野へ

- 企画いただいた喜多方市のみなさまより、お礼のご挨拶を頂戴いたしました。
- 子どもたちに「りんご」のプレゼントをいただきました。
- バスは喜多方を離れ、午後7時すぎに帰着いたしました。
- お疲れ様でした。



また来て
くなんしょ!

- 【ご挨拶をいただいた皆さま】
- ①喜多方市観光交流課小汲課長
 - ②農泊「おおつつじ」大塚様
 - ③喜多方市グリーン・ツーリズム推進室 田中係長
 - ④喜多方市GTS・遠藤様

参加者感想

(喜多方市アンケート等から抜粋・意訳)



- 心のこもったおもてなしに感動しました。
- そば打ちを初めて見ました。美味しさに感動!
- 夕食交流会が楽しかった。
- 皆さんが暖かく迎えていただいてうれしかった。「次は個人的に来てみたいです」
- 朝食は品数が多く、どれもおいしくいただきました。
- 喜多方市を身近に感じるようになりました。
- 雪下野菜の収穫ができなくて残念でした。次は収穫体験をしてみたいです。
- 宿泊先で教わった「ラーメン屋さん」に行きました。美味しかった!!
- 『四季祭』は1組しか見られなくて残念。できればもう一泊してゆっくり楽しみたかった。
- 手作りで心がこもったおもてなしに感謝しています。「また来たいです」

編集後記

(文責・同行担当者)



郷土料理や温かな人情に触れ、第二のふるさとも感じていただけたご様子で、「また来たい」「この事業を続けてほしい」との声を頂戴することができました。アンケートの「ツアーの満足度は10点満点中何点ですか？」の問いに、ほとんどの方から9～10点をいただくことができ、高い満足度を感じて頂けた事業であったと思います。

夕食交流会では、心づくしの料理とともに、歓迎のお言葉と「お品書き」も添えられ、農家の皆さんのおもてなしの心を感じました。

一方「募集告知で、農産品検査の内容などもっと詳しく教えてほしかった」「電話がつながらずに困った」「希望者が多かったのであれば回数を増やしてほしい」など、頂戴した貴重なご意見は今後の事業に活かしたいと考えます。

皆さんが喜多方の方々と楽しく交流され、「新しい友達や親戚ができたみたい」と喜ばれたご様子は、喜多方との絆を深めていく力強い味方になってくれるのではないかと感じました。

なかの里・まち連携自治体「群馬県みなかみ町」から2名の職員が参加し、冬の喜多方での取組みを学び、参加者とも交流を深めながらみなかみ町の魅力についてもPRいただきました。今後の事業に反映したいと考えます。

参加者の皆さんをはじめ、喜多方市の皆さんの細やかな心配り、多くの方々に支えられた優しい心のこもった企画でした。皆さまに感謝。